

脳卒中に最適な治療を

東京都の脳卒中医療に
脳卒中Sが加わります。

当院は、脳卒中急性期医療機関Sに認定されました。



東京都はカテーテル治療を必要とする患者さんに適切な医療を提供するため、**脳卒中S**という基準を設けました。

これまで東京都は、発症から4.5時間以内の脳梗塞患者さんに対して「t-PA治療」を行えるよう、発症から24時間以内の脳卒中を疑う場合を「脳卒中A」、24時間を超える場合を「脳卒中B」として、脳卒中Aの患者さんを、脳卒中急性期医療機関A（t-PA実施可能施設）に搬送していました。

しかし、脳梗塞患者さんの中には、カテーテル治療により症状が改善したり、脳梗塞の拡大を予防できる可能性があるため、一定の基準より重症な場合を「**脳卒中S**」として、脳卒中急性期医療機関Sに搬送する体制を整えました。

脳卒中は時間との戦い 素早く適切な治療を実現

大きな血管が閉塞した
重症な脳梗塞

お任せください

tPAやカテーテル治療が可能であれば、脳梗塞による後遺症を減少できる可能性があります。症状に気が付いたら、躊躇わず救急車を呼びましょう。

動脈瘤の破裂による
くも膜下出血

お任せください

72時間以内の再破裂予防治療が推奨されています。適切な薬物治療に加えて、外科治療の方法をわかりやすくご説明します。

高度な意識障害を
伴う重症な脳出血

お任せください

脳出血は、時に致命的となることがあります。緊急で脳出血を取り除くことで救命することが可能な場合があります。ご家族の意思決定を全力でサポートします。

第三北品川病院

☎03-3474-1831

〒140-0001 東京都品川区北品川3-3-7

第三北品川病院脳神経外科

